

第24回森林（もり）は友達！作文コンクール受賞者決定！

今年度の学校はコロナ禍の中での休校から始まり、入学式の延期や校外学習などが中止となるなど、今までにない新年度の幕開けとなりました。第24回森林（もり）は友達！作文コンクールも募集を開始したものの、多くの学校が森林教室の参加を見送る中で、果たしてどのくらい参加校があるのかと森林作文コンクール実行委員会でも心配していました。

が、蓋を開けてみると昨年度より少ないものの、10校からの応募で合計779名の生徒の参加があり無事に開催できるとなりました。

令和3年1月中旬から審査を行い、2月初めには書面やメール等で審査委員会を開催し、2月15日に最優秀賞等の受賞者20名が決定しました。当初は3月5日に都内で表彰式を予定していましたが、緊急事態宣言が継続されている中、開催するのは難しいとの考えから残念ながら昨年引き続き中止としました。

このコンクールは平成9年から開催され関東森林管理局のうち茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県に所在する森林管理署、森林管理事務所及び高尾森林ふれあい推進センターが行った森林教室等に参加した小学4～6年生を対象に、体験を通じて感じたことを自ら作文にすることによって森林林業に対する理解や関心を高めてもらうことを目的に、「森林作文コンクール実行委員会」（一般社団法人東京林業土木協会と関東森林管理局東京事務所で構成）が毎年行っているコンクールです。

最優秀賞の林野庁長官賞は、八王子市立七国小学校五年生の白神雪花さんが受賞しました。「高尾森林教室の思い出」と題し、まるで物語の様な生き生きとした表現で森林教室での自分の体験を綴った作文となっています。その他の受賞作品も森林に興味が無かったけどその大切さに気づいたという作文、国産の割りばしは環境にいいことを知ったという作文や、地球温暖化を防ぐために自分が出来ることをやっといこうと決意を綴った作品などが選ばれました。惜しくも受賞を逃した生徒さん達の作文も、森林教室で感じた森林の大切さを自分の言葉で書いてあったりと素晴らしい作文ばかりでした。

最優秀賞を受賞した白神雪花さん。
学校で表彰してもらいました。
おめでとうございます！

たぬきが書かれた木製温度計は
参加者全員に配られました。



各賞を受賞された生徒さんには、賞状や副賞のほか、もりかみ協議会から協賛していただいた間伐材マーク認定商品のカートカンなど発送し、それぞれの各学校で祝ってもらいました。令和3年度も開催する予定ですが、より多くの森

林教室が実施され、表彰式で生徒の皆さんに会えるといいなと思っております。